

第 24 回議会報告会 報告書

地 域 名	宿南地域		
年 月 日	令和 5 年 5 月 1 日 (月)	会 場 名	宿南ふれあい倶楽部
開始時間	19 時 30 分	終了時間	21 時 05 分
参 加 数	男性 12 人	女性 2 人	合計 14 人
班 長	足立 隆啓	司 会 者	足立 隆啓
報 告 者	田村 和也	書 記	田村 和也
班 員 名	足立 隆啓、田村 和也、藤原 芳巳		
	市 民	対 応	
報告に対する質疑	<p>① 田村議員が一般会計予算に反対した理由は何か。</p> <p>② 以前、報酬を上げるべきだと提言したが、結局据え置きであった。その後どのような調査・検討をされてきたのか。</p> <p>③ メタバースの目的は何か。予算と費用対効果についてどうなのか。</p> <p>④ ふるさと納税は増えているのか。用途は何か。</p> <p>⑤ 平成 18、19 年度は財政危機と言われてきたが、今は健全なのか。</p>	<p>① やぶパートナーズ株式会社に 2,000 万円の委託料を数年払い続けている。株式会社であるなら会社で収益を上げて運営していくのが本当である。委託料の内訳、成果報告などの検証の報告がないので反対した。</p> <p>② 4 年ごとに来期の定数・報酬等について調査・検討をしている。現在、定数・報酬等調査特別委員会で調査をしている。市民意見などお聞きしながら決めていく。</p> <p>③ 3,000 万円の予算で始めた。本年度も 2,000 万円の予算である。養父市のことを知っていただき、つながり人口を増やすことで、養父市を訪れる人を増やし移住・定住などにつなぐのが目的である。費用対効果は、検証をしていく必要がある。</p> <p>④ (納税金額の推移の概要を説明) 返礼品の但馬牛が県下全ての自治体で扱えるようになったことで、養父市への納税(寄附)額が激減している。用途については、納税者(寄附者)の希望を取り入れている。</p> <p>⑤ 財政は健全である(合併以来の推移を説明)</p>	

	市 民	対 応
意見交換会での質疑	<p>① 人口が減少しているが、明石市は10年連続で増加している。どこが違うのか。</p> <p>② 今が未来になっていくと信じられるまちづくりは良いことだが、市民がつながるための事業を誰がやるのが課題である。地域でやらないといけないが、どうすれば実現できるのか。</p> <p>③ 今の議員報酬では、なり手が出にくいのではないか。</p> <p>④ 議会での一般質問はどう組み立てるのか。個人の思いか、市民の意見か。</p>	<p>① 明石市は子育て支援策が評価されて増加してきた。養父市も子育て支援策では負けていない。</p> <p>② まちづくりを持続させる人材が必要である。大谷校区協議会は、校区内でマルシェを開催した。このマルシェの良いところは、他の地域の若い事業者を呼び入れ地域の力と協働したところである。また、子どもたちが参加する仕掛けもあった。若い事業者のつながりは、未来を創る。若い方も、何か地域の役に立ちたいと思う方が多い。小さなことでも、できるところから始めることが大切である。</p> <p>③ 若い方に、議員になっていただける待遇を目指したい。議員報酬を増やすべきとの意見も多いが、人口が減り財政力が弱い中では、報酬も増やせないし定数も減らすべきとの意見もある。</p> <p>④ 市民との会話の中でヒントを得て、課題の解決へ向けて調査を加えて組み立てる。自らの思いも入れていく。</p>
その他（提言など）	<p>① 企業は養父市に工場を建てることは良いが、1,000人の従業員を集められるかを課題としている。自治体が真剣に取り組めばできるのではないか。</p>	<p>① ご意見としてお聞きした。</p>
備考	なし	

議会報告会を実施したので、上記のとおり報告いたします。

令和5年5月10日

報告者 2班 班長 足立 隆啓